

公の施設目標管理シート（直営）

センターの運営業務を受託している「新潟市市民活動支援センター運営協議会」の事務局スタッフ5名がローテーション勤務。常時2名のスタッフを配置。

問合せ先 025-226-1102

年度	平成28年度		
施設名	新潟市市民活動支援センター	所管部・課	市民生活部市民協働課
施設の設置目的	市民が、営利を目的とせず、不特定多数のものとの利益の増進に寄与するために行う活動（市民公益活動）を支援するため、市民活動支援センターを設置する。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H28.5.26
歳入	438	正職員		修正日	
歳出	27,531	非常勤		評価日	H29.5.31

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標					H28結果
1	市民	活動に関する相談や活動の場の提供を行う市民活動支援センターを通じてNPO活動を支援し、市民との協働によるまちづくりを進めます。	センター利用登録団体数(団体)	326	354	246	265	263		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動団体の活動毎の支援</li> <li>・市民活動団体立ち上げに関する支援</li> <li>・志縁団体と地縁団体の協働支援</li> </ul>	新規登録：19団体、登録削除：2団体。	C:未達成
2	市民		センター利用者数(人/日)	50.7	58.8	62.0	58.5	57.6	H28目標：年間21,000人/359日(にいがた未来ビジョン実施計画目標)		20,685(人/年)。平成27年度に利用登録の更新を行い、登録団体を整理したため利用者数が減少した。	C:未達成
3	市民		センターホームページアクセス数(件/年)	11,665	37,562	66,719	67,000	70,759			より多くの団体情報を掲載できるよう画面を改造し、情報量を増やしたことでアクセス数が増えた。	A:達成(優)
4	市民		センターホームページユーザー登録数(ID,パスワード発行団体)	64	49	64	80	83	ホームページユーザー数＝センター登録団体数を目指していく。		ニコットホームページ活用相談を開催し、センターのHPを活用するメリットを宣伝した。	B:達成
5	市民		主催事業等参加者数(人)	2,515	3,402	3,063	3,100	3,061	個別相談、古町どんどん等イベント、スキルアップ講座		イベントの集客数が伸びなかった。	C:未達成
6	市民		他団体協働事業コーディネート件数(件)	71	86	94	98	92	古町どんどん、ロゴタイプ作成、キッズフェスタ、コミ協とのマッチングイベントの参加団体数		ロゴタイプ作成の応募が減少した。	C:未達成
7	財務		施設稼働率(%)	44.4	40.7	47.8	48.0	44.6	(利用実績)/(利用可能コマ数)		平成27年度に利用登録の更新を行い、登録団体を整理したため稼働率が減少した。	C:未達成
8	財務		利用者一人当たりコスト(千円)	1.51	1.37	1.28	1.31	1.33	(総事業費)/(利用者数)		平成27年度に利用登録の更新を行い、登録団体を整理したため利用者数が減少した。	C:未達成
9	業務		利用者懇談会開催数(回)	11	10	3	5	1	会員交流・研修会		会員研修は、柏崎市の「市民活動センターまちから」と「中越沖地震メモリアルセンター」視察だけだった。	C:未達成
10	人材		スタッフ能力向上のための研修会参加数・勉強会開催数(回)	52	54	58	60	45	H28目標：スタッフ勉強会10回、スタッフ会議48回、防災・救命講習会、フォーラム研修参加 等		年度後半は、予算の関係でスタッフ会議を2回にしたため、スタッフ会議・勉強会とも減少した。	C:未達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
豊かな地域社会を実現するには、市民の創意と工夫を活かすことが必要です。市民活動支援センターを通じて市民団体が行う様々な公益活動の支援を行ないます。	利用者数や施設稼働率が目標を達成できなかった。これは、平成27年度に利用登録団体の定期更新を行ったことが影響したもので、やむを得ない部分がある。 新潟市市民活動支援センターは、開設から10年以上が経過している。そのため、センターに求められている機能や役割について改めて整理する必要があると判断し、平成28年度に新潟市市民活動支援センターのあり方検討委員会を開催した。委員会からは、広報の徹底や相談機能の強化など、さまざまな提言を盛り込んだ報告書をいただいた。今後はこの報告書を基に、利用対象者の拡充に取り組む。